

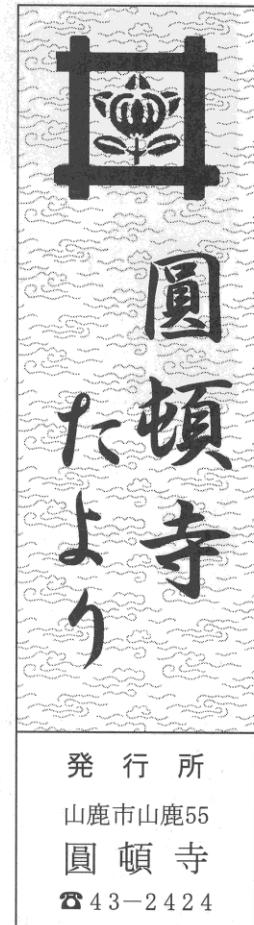


檀信徒参詣で初講法要

合掌。お盆の月をお迎えしました。檀信徒の皆様方には、現況のコロナ禍の影響で多大なご不自由とご不

## 順境院日撮

第三十四世



便な生活を送られていられること、衷心よりお見舞い申し上げます。あわせて、早期の終息と、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

当山におきましても、五月の立教開宗報恩会と太黒

尊天祭は、全国一斉での警戒地域指定と連休自粛期間中とを鑑みて、本總代との協議の上、苦渋の決断ではありましたが、参拝者の安全第一を優先し中止しました。当日は僧侶のみにて法要を執り行いました。

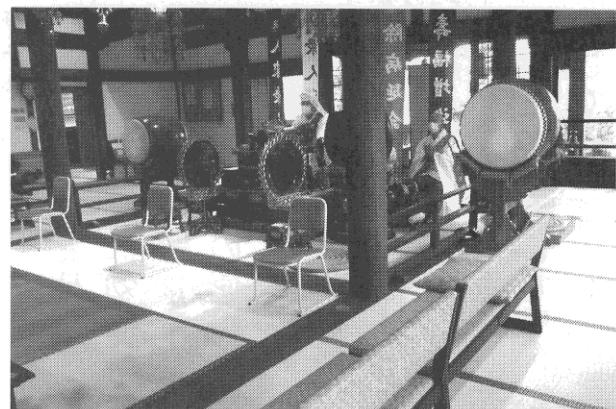
また、ご案内申し上げておりました身延団参も残念ながら無期延期と相成りました。檀信徒のマスク着用と入り口でのアルコール除菌をお

コロナ禍の影響は年中行事にも大きな影響を及ぼすことでしそうが、住職として知恵をしづびり臨機応変に対応していく所存であります。なにとぞご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

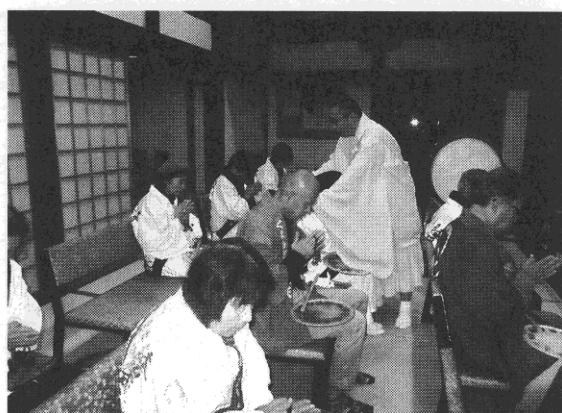
当山の対策としては、参拝者へのマスク着用と入り口でのアルコール除菌をお

願いし、なるべく距離を離して着座と換気徹底とを励行しております。お参りの際、安全に参拝いただけますよう衛生面には細心の注意を心がけております。ご安心下さいませ。

さて、昨今のコロナ禍について。この令和の時代、未知の疫病にて全世界が恐怖するとは、誰もが想像だに出来なかつたことでしそう。「旅客來りて嘆いて曰く、近年より近日に至るまで、天変・地天・飢饉・疫病・遍く天下に満ち、広く地上に進る。牛馬ちまたに斃れ、骸骨、路に充てり。」これは日蓮大聖人の『立正安國論』の冒頭です。鎌倉の御代と同じことが、今現在、この世界に現出しています。必然、令和は末法のよ



檀信徒不在で立教開宗報恩会



1月28日寒修行成満会

末法の汚濁も極まつております。このコロナ禍の当代をいかにして暮らしていかなければならぬのか。日蓮大聖人は『師子王御書』にこのように述べておられます。

「仏法を信じて今度生死をはなるる人の、すこし心のゆるなるをすすめむがために、疫病を仏のあたへ給ふ。はげます心なり、すすむる心なり。」

ご遺文の大意は次のようになります。

御本仏さまが疫病という大変な困難をお与えになられるのは、得てして信心薄くなりがちな末法衆生の私たちに対して、励まし信心を強くするための御心の顕れなのです。決して仏罰のたぐいではありません。念のため。

だからこそこのような状況にては、御本仏さまの御心の真意を覚り、信仰をより厚く精進していかなければなりません。

また幸いにも御本仏さまは『妙法蓮華經壽量品第十』の中に、「是れ好き良薬なり。今留めて此に在く」と説示されております。

言うまでもなく、良薬とはお題目。御本仏さまは研究開発され、日蓮大聖人が

調薬処方された特効薬なのです。

御本仏さまも日蓮大聖人も、末法汚濁に效能第一の良薬であるお題目を我々に遺され、是非の使用を勧めておられます。

末法万年のこのご時世。しつかりと身と口と意にて、良薬としてのお題目を頼服し、速やかに心身の調和と強壯とを会得して正しく暮らしていくかなければならな



3月28日春季彼岸総供養会

エレモニーホール

山鹿  
天龍会館

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル よい れいきゅうしゃ  
0120-45-0948

TEL (0968) 44-0444

「衆生を惑むが故に、此の  
人間に生ずるなり。」  
『妙法蓮華經經法師品第十』

今号でも学習してまいります。まずは法華經の經文から。「私たちは、母にゆえに人間として生まれてきたのか。また法華經の教えに御縁をもつて暮らしているのでしょうか。ただ単に両親から生まれてきたのではありません。自覚はないでしょうが、実

いのです。つまり、今次コロナのように、大層なる困難や境遇にあっても左右されず、お題目の修行を通して、御本

## 法華經と御遺文の学習

仏さまの御心の真意に沿つて精進していくことが是非とも肝要なのです。皆様と共に頑張ってまいりましょう。再拝。

は、過去世において沢山の仏さまのみもとで精進を累ねて、来世において一切衆生を救済しますとの大願を立てたからこそ、私たちは人間として生まれてきたのです。なおかつ、法華經の教えをもつて世の中を良くしていくという使命も帶びているのです。

つまり、人間として生まれたことは、すべてが過去の積善と累徳のおかげなのです。

だからこそ、過去世からこのように人間として生を受けることも至難。ましてや法華經に縁を持ち信仰をしていくことは至難中の至難。



初講法要で唱題する檀信徒



ビル新築工事から増改築まで何でも致します  
住宅金融公庫其の他手続代行

有限会社 井上組

井 上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

扈する巷間において、生きとし生けるもの一切衆生に對し自他彼此の區別差別なく、あわれみの心をもつて世の中の暗闇を照らしてまいりましょう。

「我並びに我弟子諸難ありとも疑う心なくわ自然に仏界にいたるべし。天の加護なき事を疑はざれ。現世の安穩ならざる事をなげかざれ。」

人間より主なるぶく『開目抄』

續いて御遺文の学習です。この御文章は佐渡法難の折のものです。大法難中の想像を絶する御境地にてのお言葉です。概要是次のようにあります。

日蓮、ならびに日蓮の門下たちは、たとえさまざまな受難があつても、法華經

開目抄を著述された塚原三昧堂  
現在の三昧堂は天保五年（一八三五年）建立



事象を一喜一憂しがちです。過去に経験した悪い事は本当に悪い事だけだったのでしょうか。悪い結果も良い結果に変えていく力こそが法華經お題目の力なのです。

現在のコロナ禍は大難です。こんな時こそ、自分の事ばかり考えるのではなく、他のために心を向け行動が出来る人こそが菩薩そのものなのです。

悠々自適、面白おかしくだけが人生の喜びではありません。決して未来を悲観するだけではなく、辛抱強く生きていきましょう。それだけではなく、辛抱強く生きていきましょう。その中には真の喜びがあるはずです。いつでも御本仏さま諸佛諸天は御守護されおられます。決してお忘れなきよう。日蓮大聖人の言葉を典拠として。

大小宴会・会食

**横手会館**

山鹿市九日町(八千代座前)

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

**横手仕出し**

TEL. (0968) 43-2206

**割烹よこて**

肥後銀行前 TEL. 43-7500



初講法要：受付の様子

令和最初の正月を迎えて初法要、「宗祖日蓮大聖人第七百三十九年遠忌御報恩初講法要」が、一月十三日行われました。本堂で、境内、檀信徒会館、厨房などで新年の挨拶が交わされていました。

## 文わざれる新年のあいさつ 初講法要

た。受付を済まされた檀信徒の方々は椅子に着席されますが、多くの参詣があり椅子に座れない方もありました。大聖人では墓が安置

### ち 団扇太鼓の叩き方指導

言

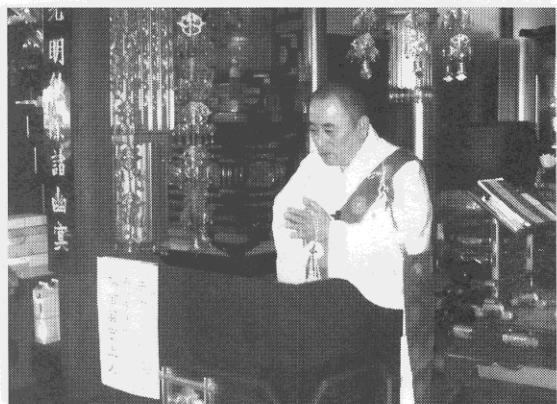
が、法話の住職をお迎えするときや法要で導師・式衆

お迎えする際、また、唱題行のときにお題目を唱えながら团扇太鼓を叩きますので、妙教寺の松尾英勝上人から指導いただきました。

### ます 秋吉英守上人法話

参詣の檀信徒のお題目と太鼓でお迎えし、住職が朝倉市甘木「大安寺・秋吉英守上人」を紹介。お題目三

唱、新年の挨拶・旧年中の御礼で法話が始まりました。



秋吉上人お題目三唱

### 安房国小湊で誕生

今日（一月十三日）は日蓮大聖人の初の御命日の法要です。大聖人は千葉県でお生まれになりました。千葉県小湊には『誕生寺』というお寺があります。お生まれになつて八〇〇年が来ます。圓頓寺さんでは今年五月に聖地をお参りする予定です。大変尊いことです。

毎度ありがとうございます  
米・肥料・農薬・たばこ  
(全商品配達致します)

### (有)あそしな米穀

代表取締役 阿蘇品 和彦  
☎ (0968) 43-2526  
無料電話 0120-23-2526  
山鹿市大宮町641-2

## 熊本日々新聞

### (有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦



法話を聴聞する檀信徒

**日蓮大聖人の生涯**

日蓮大聖人は一二二二年二月十六日お生まれになつて、十二歳で清澄寺にのぼられ十六歳で出家、二十二歳に比叡山に勉強に行かれ、三十二歳に勉強が終わつて清澄山にのぼられ、三十八歳の時に『立正安國論』という論文を書かれ、北条時頼に上程されました。ところが幕府の怒りをかつて、伊豆に流されたり、佐渡に流れたり、龍の口で首を切られそうになつたり、四回も大きなことがおこつて、最後には佐渡から帰ります。最後には武藏国で遷化してこられて身延山にのぼられ、九年間お経を一生懸命読みました。

**武藏国で遷化**

大聖人は、最後は武藏国（東京都）池上郷において六十一歳で亡くなられました。『墓を身延の沢に建てさせてください。』と遺言され、大聖人のお墓は身延山にあります。

## 二回身延へ

去年二回身延へ行きました。一回目は大安寺の団参で、二回目は身延の高校を出ていますので、同級生が還暦になつたら会おうと言つて、九月に行かしてもらいました。



説明する秋吉上人

**四無量心『慈悲喜捨』**

お配りした紙を出してください。四無量心『道を求める者の修めなければならぬ慈と悲と喜と捨の四つの大きな心（四無量心がある……）。次に解説があります。「慈・悲・喜・捨」という他人に対してもつべき四つの心を、四無量心と言います。

**慈悲とは**

「慈悲」という言葉が多く使われるようになって、セツトの熟語と思われがちですが、仏教では慈と悲は別的心とらえます。「慈」は、友情

## 平成十七年度～令和四年度

立正安國・本願  
お題目結縁運動

新報品籍回

日蓮宗



マルカメ醤油・味噌  
灯籠しょくしょん

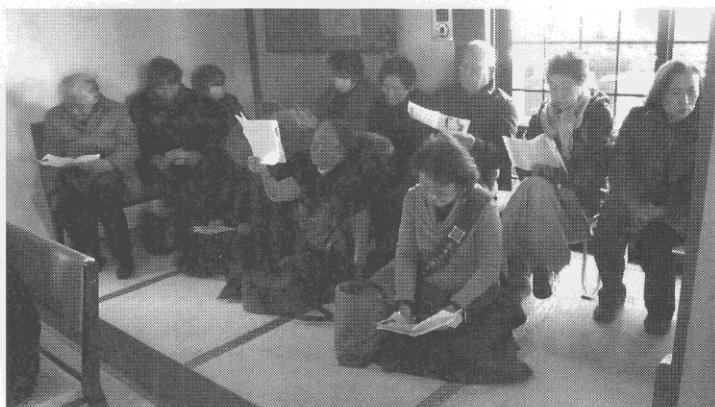
山鹿市中1000-2  
☎ 44-3131

を根本的な意味とする言葉であり、「悲」は、同情を意味する言葉です。「慈」は人々に喜びや楽しみをもたらそうとする心であり、「悲」は人々の嘆きや苦しみを取り除こうとする心です。これはお釈迦さま、仏さまの無条件の心です。

### 喜捨とは

「喜」とは、人々に苦悩がなくなり安樂が訪れることを共に喜ぶ心のことです。他者が苦しければ共に苦しむのが慈悲だとすれば、他者が嬉しい時共に喜ぶのが喜であると言えるでしょう。他人が幸せになるとねたみますぐ、それをしては駄目ということです。「捨」とは、他者のために心を碎いて、しかもそのことにとらわれない心です。人に何か良いことを行つたとき、しばし

うな良いことをした」と悦に入り、さらには恩させがましくなつたりするものですが、そういう心を離れることです。また、どんな人に対しても差別心をもたない心ともいわれています。



資料を見ながら聴聞する檀信徒

### 四無量心とは

ば「自分は誰それにこのようないいことをした」と悦敵の違いが分からなくなるほど、大きな心を得るといふのです。無量とは、数えきれないくらい数が多いという意味です。これらの心を「無量心」というのは、無量の人々をすべて対象とするからであり、またその実践によつて無量の福徳を招くからです。四無量心は、生活している処で役立たなければ何の意味もありません。

### お布施のいろいろ

とすれば、貪りの心、怒りの感情、苦しみなどを断つことができ、恩人と憎むべき

『三種の布施』①財施||金品などの財物を施すこと。  
②法施||仏法を説いて会得させること。今私がお話ししていることです。③無畏施||人々の恐怖や不安を取り除いて安らぎを与えること。の三種類です。布施とい

# 天寿苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

うと僧侶に納める金銭のイメージが強いですが、①財施にあたり、僧侶のお経や法話は②法施にあたります。布施の意義を深め、安らぎの元としなければ本末転倒になってしまいます。

『無財の七施』お布施が大事です。心と身体があれば日常に実現可能な布施も解かれています。『雜宝藏經』の説示で、七種施という七つの接し方とその功德です。①眼施||常に優しい眼で接する。②和顏悦色施||しかめつ面で接しない。③言辞施||優しい言葉遣いで粗暴な言葉を使わない。しかし人が危ないときには強い言葉で怒ると助かります。④身施||礼儀正しく接する。お寺でのおとき当番、掃除、法要後の後片付けなども身施です。⑤心施||①～④に



法話を聴聞する檀信徒

ついて善心をもつて行う。⑥床座施||座席を整え、あるいは自分の座席を譲り座つてもらう。⑦房舎施||屋内に招き入れ休んでもらう。これらは人として当然の振舞いで一見簡単のようですが、普段からの不斷の心掛けがないと的確に実践することは難しいものです。

もうひとつ布施があります。皆様は毎日しています。お布施は人にするもの。供養は仏様、神様ご先祖様に供養することです。毎日していることは、お線香をあげるお花を供える。ローソクの明かりをともします。灯明は闇の中で足元を照らし、行く先を照らします。お釈迦様最後の説法で灯明の教えが説かれています。

**身延山御書・御堂建立**

お釈迦様のお話の中で最たるもののが、日蓮大聖人の御遺文、建治元年八月の「身延山御書」に書かれていました。須達長者がお釈迦様のために広さ四十里の苑を買い取り、悦んで御堂（祇園精舎）を造られ、完成しました。

### もう一つの布施・供養

建設業  
砂利採取販売業  
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊  
山鹿市中483  
電話(0968) 44-7815

電気設備工事設計施工

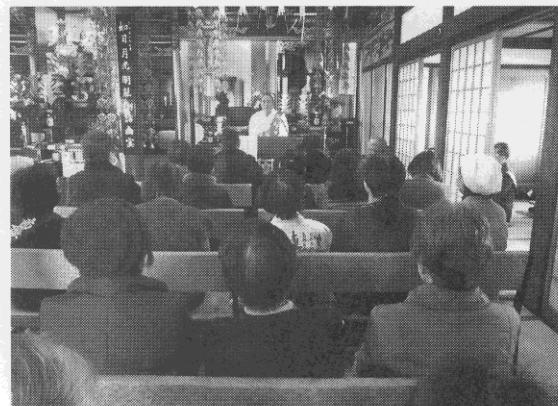
有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298  
電話(0968) 43-2087

**身延山御書・貧女の一灯**

七月十五日夜お釈迦さまは祇園精舎に入られることになりました。人々は自分に応じて万灯、千灯などをささげ道を照らしました。その中に一人の貧女がいました。貧女はあちこち駆け回り一灯の油の代金を求めましたが、得ることが出来ませんでした。嘆き悲しみ涙が止まりません。考えた末自分

の黒髪を切つてカツラを作



秋吉上人の法話

り、売つて一灯の油に変え  
て灯すことが出来ました。

### 貧女の一灯だけ消えず

殊勝な貧女の真心を仏、地神も仏法僧の三宝、天神、大風が吹いてすべての灯を吹き消しましたが、貧女の一灯だけは消えずに残り、

その光によってお釈迦様は祇園精舎に入られました。眞心は消えません。例え貧しくても信心が強く、志が強い人は仏になることは間違ひありません。

### 自分の真心を布施に

貧女の一灯の真似事をしてはいけません。自分の真心を形にしていくのが本当の布施です。貧女の一灯でお釈迦様が祇園精舎に入る



特別回向、祈祷する住職

を心がけてください。日蓮大聖人がおっしゃっているのは、神様の守りは自分の祈りによって決まる。信心強ければ守りも強い。信心弱ければ守りも弱い。今年一年神様、仏様、ご先祖様から守られるように、強情な信力を起こしてお過ごしください。と法話を締めくられ、お題目三唱の後お檀家の団扇太鼓で降壇されました。



to make happy

**エルアコンサルティング株式会社**

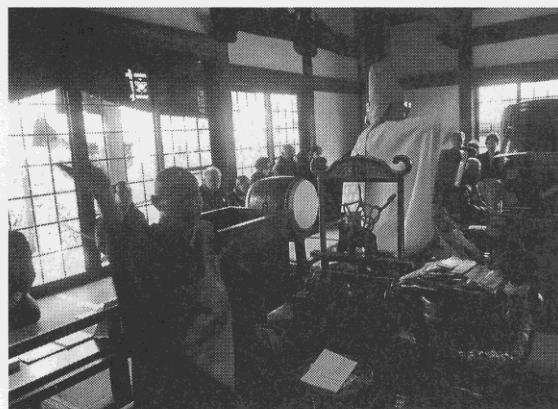
取扱生命保険会社

- アクサ生命 ■ アフラック生命 ■ メットライフ生命 ■ オリックス生命 ■ ソニー生命 ■ 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命
- 東京海上日動あんしん生命 ■ エヌエヌ生命

取扱損害保険会社

東京海上日動火災保険

熊本オフィス 熊本県熊本市南区田井島1-3-50 ガレリアII TEL:096-223-8105  
 山鹿オフィス 熊本県山鹿市中967-8 TEL:0968-43-1516  
 荒尾オフィス 熊本県荒尾市大正町1-1409-1 TEL:0968-64-7730



住職・院首による切散華

**日蓮大聖人初講法要**  
休憩後導師の英人上人、院首上人、大安寺・秋吉上人、龍王寺・福山上人、妙教寺・松尾上人の出仕で第七三九遠忌初講法要が行われました。法要は、本堂に仏さまが姿を現してくださることを念ずる「道場偈」で始まり、三宝禮、綺麗な華を撒いて道場を清め仏さまを勧請する「切散華」、勧請や読経が続く中、住職は檀信徒が申

養、先祖代々供養、家内安全などを読み上げ祈祷し、婦人会代表による献膳の儀、全参詣者による唱題行も行されました。

法要終了後住職が、「新年の挨拶、昨年の護持・護法への御礼、初講法要の意義、団参の案内、本堂一杯多くの参拝に感謝」の挨拶をされ、院首上人も挨拶されました。

参詣の檀信徒は檀信徒会館へ移動し、当番地区の方、婦人会の方、有志の方が作られたおとぎをいただき、お札を手に帰途につかれました。（編集委員・谷）



南半球のオーストラリアでは少雨の影響でしょうか、大寒の日現在四ヶ月も山火事が続き、北海道を超える面積が焼失したそうです。日本では雪不足でスキー場が開設できない処や、雪や氷関係のイベントが出来ない

### 異常気象下の奉修行

**S 有限公司 盛文社印刷**

山鹿市下町1807  
TEL 0968-43-2604  
FAX 0968-43-6075

TEL 0968-43-7330

**生活環境に、やさしい企業**

**水廻りの事ならすべてOK！**

**TORAYA SHOKAI**

**合資会社 とらや商会**

TEL(0968) 43-2212 FAX(0968) 44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号